

Ver. 2.0

型番:GRFD-TWS HT05

取扱説明書

アクティブノイズキャンセリング 完全ワイヤレスイヤホン



も く じ

ページ

安全上の注意	2
使用上の注意	4
各部の名称	4
充電のしかた	5
使いかた	6
お手入れ	11
本製品の防水性能について	11
故障かなと思ったら	12
リチウム電池リサイクルについて	12
商品仕様	13
Bluetoothについて	14
保証書・保証規定	15

- この度はアクティブノイズキャンセリング完全ワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」、「充電のしかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の15ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この製品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。

No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■絶対に分解したり、改造しない



火災・感電の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



感電・故障の原因になります。

■本製品内蔵の電池が液漏れした場合は直ちに使用を中止する



発火・炸裂の原因になります。

■本製品内蔵の電池の液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師に相談する



失明などの原因になります。

■運転中は使用しない



自動車、オートバイ、自転車などの運転中はイヤホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対にお止めください。交通事故の原因になります。

■周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない



踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは周囲の音が聞こえないと危険です。事故やけがの原因になります。

■異常・故障時は直ちに使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない




感電の原因になります。

安全上の注意 必ず守ること




注意


- 本製品に強い衝撃や圧力を加えない

 液漏・発火・炸裂の原因になります。


- 油煙、湯気、湿度、ほこりの多い場所で使用しない

 火災・感電・故障の原因になります。


- 医療機器の近くで使わない

 電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。


- 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


- 航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


- 大音量で長時間連続使用しない

 聴力障害などの原因になることがあります。


- 使用開始時はボリュームを下げてから装着する

 突然大きな音が出て、耳をいためる原因になります。


- 製品仕様の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止する

 液漏・発火・炸裂の原因になります。


- 直射日光が強いところ、炎天下の車内での使用や保管をしない

 破損・発熱の原因になります。


- 本製品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない

 液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。


- 小さなお子様の手の届かないところに保管する

 誤飲など思わぬ事故をまねくことがあります。


- USBケーブルを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜く

 ケーブルを持って抜くと断線や故障の原因になります。


- 充電中は、本製品および充電ケーブルの周りに物を置かない

 感電・ショートの原因になります。

- 充電ケースを他の製品に使用しない、イヤホン以外のものを入れない

 感電・火災・ショート・故障の原因になります。

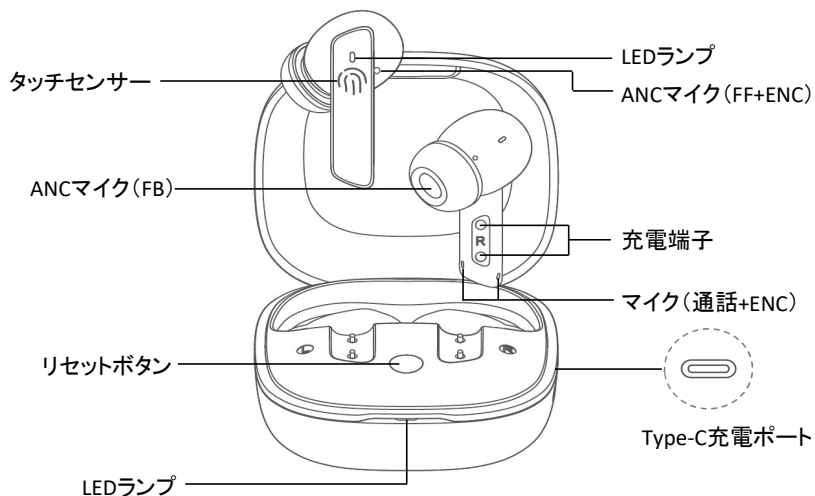
- イヤホンおよび充電ケースにキャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

 本製品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる可能性があります。

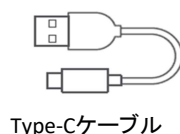
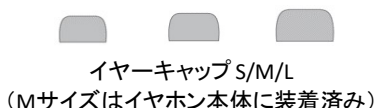
使用上の注意

- 本製品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本製品を近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本製品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品を使用せず、長期間保管した場合、バッテリー性能は低下します。何回か充放電を繰り返すと回復します。
- 本製品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

各部の名称



付属品



充電のしかた

初めてお使いになる前に本製品を満充電してからご使用ください。

イヤホンの充電

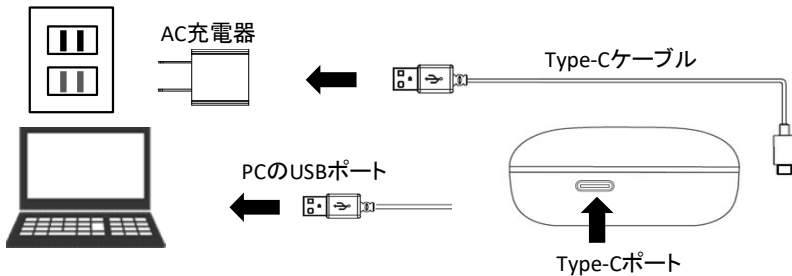
イヤホンをケースに収納すると、イヤホンのLEDランプが赤く点灯して、充電を開始します。満充電されるとLEDランプが白に点灯してから消えます。ケースのフタを開けた時にLEDランプが消灯していれば、満充電できています。

- イヤホンのバッテリー容量が低下すると、3分おきに警告音が聞こえますので、充電してください。
- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

ケースの充電

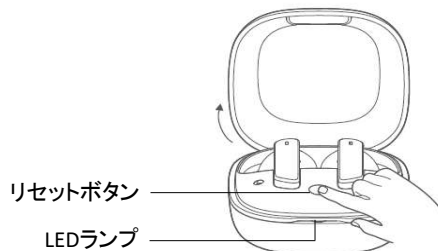
USB規格に適合したパソコンについているUSBポートやUSBポートのあるAC充電器と付属のType-Cケーブルを使用して充電してください。

充電中はケースのLEDランプが赤く点灯し、満充電になるとLEDランプが白に点灯します。充電後はケーブルを外してください。



- リセットボタンを1回押すと、LEDランプの色でケースのバッテリー残量が表示されます。

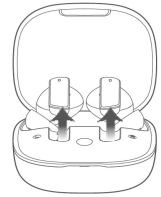
白: 残量20%以上
赤: 残量20%未満



使いかた

イヤホンを取り出す

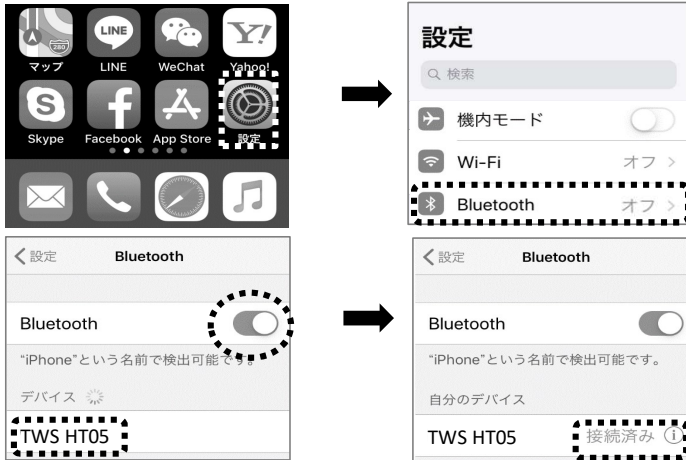
イヤホンはケースにマグネットで固定されています。イヤホンをつまみ上げて取り出してください。取り出すとイヤホンのLEDランプが白く点灯します。



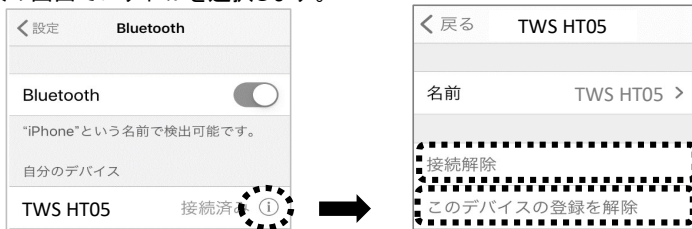
ペアリング

1. ケースから左右のイヤホンを取り出すと、イヤホンのLEDランプが白く点灯し、イヤホン同士が自動的にペアリングされます。
2. スマートフォンの設定から、Bluetoothを立ち上げます。
3. 検索されたデバイスの一覧から「TWS HT05」をタップします。接続するとイヤホンのLEDランプが消えます。
 - Android端末でデバイス一覧に「TWS HT05」がない場合は、スキヤンをタップしてください。
 - 接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初からやり直してください。

iPhoneでの参考例



- Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして次の画面でいずれかを選択します。



使いかた

ペアリング(続き)

4. 使用後はイヤホンをケースに戻してフタを閉じてください。Bluetoothがオフになり、自動的に充電を開始します。イヤホンの電源はオフになります。
- イヤホンをケースに戻さずに約5分間使用しないと、自動的に電源オフになります。
 - 2回目以降のご使用では、イヤホンをケースから取り出すと、最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。

イヤホンの装着

耳のくぼみにあわせて軽く回して装着します。

- 頭を軽く振ってみて、しっかりと装着されたかを確認してください。しっかりと装着しないと耳から外れて脱落や紛失するおそれがありますので、ご注意ください。
- 左右を間違えないように装着してください。
- マイクがある部分を口元に向けてください。
- イヤークリップのサイズが合わない場合は、付属の他のサイズに交換してください。



片耳で使う

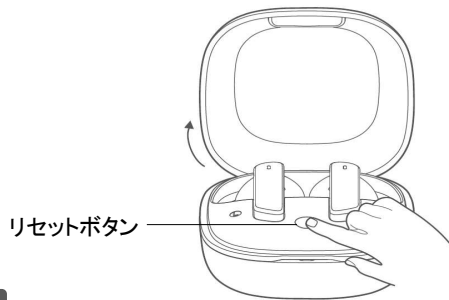
1. ケースから左右いずれかのイヤホンを取り出します。
 2. スマートフォンの設定からBluetoothを立ち上げます。
 3. 検索されたデバイスから、「TWS HT05」をタップしてください。
- 初めてお使いになるのが片耳の場合、Bluetoothの接続に時間がかかる場合があります。
 - 両耳でペアリング、Bluetooth接続をした後に片耳で使用する場合は、2～3の設定は必要ありません。
 - 左右いずれかのイヤホンを片側使用中に、もう一方のイヤホンをケースから取り出すと自動的にペアリングされ、両方から音が聞こえるようになります。
 - 2つのイヤホンが同じBluetoothの通信範囲内であれば、ペアリングが優先されますが、通信範囲外であれば、それぞれのイヤホンは別々のBluetoothデバイスと接続して単独に使用することができます。
 - 片耳で使用する場合は、ANCおよび外音取り込みモードには対応しません。

使いかた

リセットする

接続がうまくいかない場合や初期状態に戻したい場合は、以下の手順に従ってイヤホンをリセットしてください。

1. スマートフォンのBluetooth設定でデバイスを削除してからBluetoothをオフにしてください。
2. 両方のイヤホンを充電ケースに収納します。
3. 充電ケースのフタを開けたまま、ケースのリセットボタンを約10秒長押しすると、イヤホンのLEDランプが白に5回点滅して、リセットが完了します。
4. イヤホンを取り出すと、イヤホン同士が自動的にペアリングされます。



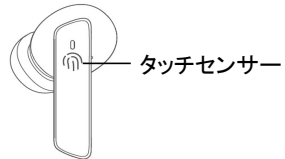
電源を入れる

イヤホンの電源を入れるには2つの方法があります。

- 方法1: イヤホンが充電ケースに入っている場合は、フタを開けると自動的に電源が入ります。
方法2: イヤホンが充電ケースの外にある場合は、タッチセンサーに約1.5秒触れます。

電源を切る

イヤホンの電源を切るにはイヤホンをケースに収納します。



着信応答

着信時にいずれかのイヤホンのタッチセンサーを2回タップすると着信に応答できます。通話を終了する場合はタッチセンサーを2回タップします。

着信拒否

着信を拒否する場合は、着信時にいずれかのイヤホンのタッチセンサーを約1.5秒押します。

使いかた

音量調整

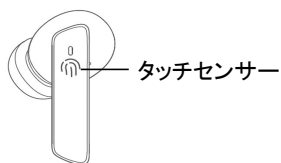
イヤホン本体では音量調整ができませんので、ご使用の接続機器で操作してください。

再生／一時停止

音楽再生中にいずれかのイヤホンのタッチセンサーを2回タップすると一時停止します。もう一度2回タップすると一時停止が解除されます。

曲送り

音楽再生中に右イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると曲送りします。



曲戻り

イヤホン本体では曲戻りができませんので、ご使用の接続機器で操作してください。

音声アシスタント

左イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると音声アシスタント(Siriなど)が立ち上がります。音声指示してください。音声指示せずに約6秒経過すると元のモードに戻ります。

ゲーミングモード

ゲーミングモードでは、動画視聴の際に発生する映像と音のズレが低減されるので、ストレスなくゲームや動画を楽しむことができます。

左イヤホンのタッチセンサーを約1.5秒長押しすると、「Game mode(ゲームモード)」と音声が入聞こえて、ゲーミングモードに切り替わります。

もう一度約1.5秒長押しすると、「Exit game mode(イグジットゲームモード)」と音声が入聞こえて通常モードに戻ります。

- ゲーミングモードでは、通信距離が通常モードより短くなります。
- ゲーミングモードの効果は、お使いの接続機器や使用環境によって影響を受けます。

使いかた

アクティブノイズキャンセリング(ANC)

アクティブノイズキャンセリング(ANC)は、周囲からのノイズを軽減し、集中して音を楽しむことができます。3つのモードがあり、初回ご使用時は、ANC OFFの状態となっています。

●ANC ON

ANC OFFの状態ですらイヤホンを約1.5秒押し、「ANC ON」と音声がか聞こえてANCがONになります。

●外音取り込み

ANC ONの状態ですらイヤホンを約1.5秒押し、「Pass through(パススルー)」と音声がか聞こえて外音取り込みモードになります。このモードはノイズを軽減しながらも周囲の音が聞きやすいので、音楽を聴きながら屋外でスポーツをする際などは周囲の状況を把握できるため、安全に配慮しながらご使用いただけます。

●ANC OFF

外音取り込みモードですらイヤホンを約1.5秒押し、「ANC OFF」と音声がか聞こえて、ANCが解除されて、通常モードになります。

※初回ご使用時は、ANC OFFの状態となっています。

※右イヤホンを1.5秒押しごとに、ANC OFF→ANC ON→外音取り込みの順で切り替わります。

※ANC ONや外音取り込みモードでは、再生・通話・待機時間が通常より短くなります。

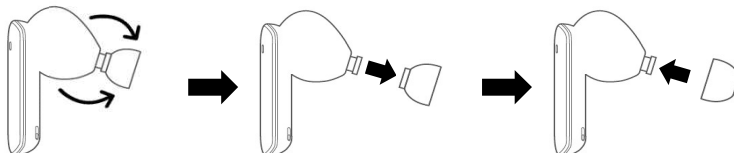
※2回目以降、再接続した場合は、前回使用されたモード状態となっております。

その他の機能

- 音楽再生中にBluetooth通信可能範囲外に出て接続が切断されると、信号音がか聞こえます。2分以内に範囲内に戻ると信号音がか聞こえ、自動的にBluetooth接続を復旧します。スマートフォンの音楽再生をタップするかイヤホンのタッチセンサーを2回タップすると再生が再スタートします。

イヤークャップの交換

- 本製品には3種類(S/M/L)のイヤークャップが付属しています。耳に合ったサイズを選んでご使用ください。最初に本体にはMサイズが装着されています。
- イヤークャップが確実に固定されていないと、使用中に外れて耳の中に残る場合があります。確実に固定されていることを確認してください。



お手入れ

イヤホン・ケース

汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となりますので、ご使用後は速やかにふき取ってください。

- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 本製品を水や石けんで洗わないでください。
- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 充電端子の汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

イヤークャップ

- イヤホンからキャップを外し、薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてから取り付けてください。

本製品の防水性能について

イヤホン本体

本製品のイヤホン本体は、防水規格IPX5相当の仕様となっています。いかなる方向からの水の直接噴流によっても有害な影響を受けません。防水性能は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

- 完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください
- 故意に流水を浴びせたり、水没させないでください。
- 本製品を水や石けんで洗わないでください。
- お風呂やシャワーでの使用は推奨していません。
- イヤホンについた汗、雨水、海水などをよくふき取ってください。
- お客様の誤った取り扱いにより水の侵入で故障した場合は保証対象外となります。

充電ケース・充電用ケーブル

本製品に付属する充電ケースおよび充電ケーブル類は防水仕様ではありません。

- 水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- イヤホンの電池残量が低下しています。ケースにセットして充電してください。
- ケースの電池残量がない場合は、イヤホンを入れた状態でケースを充電してください。

充電できない

- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4を参照)をご確認ください。
- 充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。汚れがひどい場合はアルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

Bluetoothデバイスとペアリングできない

- 接続するBluetoothデバイスが使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetoothデバイスが本製品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- Bluetoothデバイスの設定でBluetoothをオフにしてから再度オンする、または登録を削除してから、やり直してください。
- リセット(P.8「リセットする」を参照)してから、ペアリングをやり直してください。
- 本製品とBluetoothデバイスを近づけてからペアリングしてください。
- Bluetoothデバイスが他の機器とBluetooth接続している場合は解除してから、本製品とペアリングしてください。

ノイズやエコー音が入る

- Bluetoothデバイスとの間に障害物がないか確認してください。
- Bluetoothの通信範囲内(約10m)にあるか確認してください。
- 通信が干渉される可能性のある無線LANのそばで使用している場合は、無線LANをオフにするか、10m以上離れた場所で使用してください。

通話相手に自分の声が聞こえない

- スマートフォン、PC、タブレットがBluetooth機能を搭載し、HFP・HSPiに対応している必要があります。ご使用の接続機器やソフトの環境により、マイク入力を手動で設定する必要がありますので、それぞれの設定をご確認ください。また、対応しない場合がございますので、ご了承ください。ご使用できない場合は、有線イヤホンを推奨いたします。

リチウム電池のリサイクルについて



この製品にはリチウムイオン電池が使用されています。不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。



詳細はここから

商品仕様

向上のため、商品仕様は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

商品仕様	イヤホンタイプ	カナル型
	イヤホン本体質量(片耳)	約4.8g
	使用温度範囲/湿度範囲	5~40℃ 20~80%(ただし結露なきこと)
	抗菌仕様	○
ヘッドホン部	ドライバー型式	ダイナミック型
	ドライバーサイズ	φ10mm
	音圧感度	103dB
	インピーダンス	32Ω
	防水規格	IPX5
	再生周波数帯域	20Hz~20kHz
マイクロホン部	マイク感度	-42dB
通信仕様	Bluetooth	Ver.5.2
	対応プロファイル	HFP, HSP, AVRCP, A2DP
	対応コーデック	SBC, AAC
	使用周波数帯域	2.4GHz帯
	受信距離/送信出力	約10m/Class 2
ヘッドホン部 その他	イヤホン本体バッテリー量(片耳)	43mAh
	連続音楽再生時間(※1)	ANC ON: 約6時間 ANC OFF: 約8時間
	連続通話時間(※1)	ANC ON: 約4時間 ANC OFF: 約4.5時間
	連続待機時間(※2)	ANC ON: 約9時間 ANC OFF: 約30時間
充電仕様	充電電圧	DC5V
	イヤホン本体充電時間	充電ケースでの充電: 約2時間 ※充電ケースが満充電の状態、最大3回まで充電可能
	充電ケース充電時間	約2時間
	充電ケース内蔵バッテリー量	350mAh
	充電ケースサイズ(W x D x H)	55.1 x 55.0 x 28.4mm
	充電ケース質量	約38.8g
	充電ポート	Type-Cポート

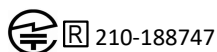
商品仕様

機能一覧	ゲーミングモード	○
	ノイズキャンセリング	DSP/ENCデュアルマイク
	ANC(アクティブノイズキャンセリング)	FF + FB/ハイブリッド
	外音取り込み機能	○
	音声アシスタント	Googleアシスタント/Siri
	ハンズフリー機能	○
	オート電源オン	○
	自動ペアリング	○
	左右独立接続(左右独立使用)	○
付属品	イヤークャップ	S/M/L(Mサイズは本体に装着済み)
	充電ケーブル	充電用Type-Cケーブル(約0.18m)
	取扱説明書兼保証書	保証期間1年間

(※1)使用時間は50%音量の条件にて算出、接続するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために通話/再生時間が短くなる場合があります。

(※2)Bluetooth接続した状態で音楽再生や通話せずに、イヤホンをケースの外に放置した場合の持続時間。

本製品は工事設計認証を受けています。



Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応製品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声が入切れることがあります。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本製品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本製品での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声はずれる場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかる場合があります。